



奥野製薬が新ブランド

半導体向けめっき薬

奥野製薬工業（大阪府大阪市中央区）は、半導体向けめっき薬の新ブランド「トライザ」を立ち上げた。4月から新ブランドとして本格的にスタートし、アピールを強化。31日から6月2日に東京ビッグサイトで開催されるJPCA Showで披露される予定。産業のコメといわれ

る半導体は、モノづくりに必要不可欠な存在。新ブランドの名称の由来は、同社が旧来使用しているブランド「トップ」とラテン語でコメを表す「ORYZA（オライザ）」を掛け合わせたもの。半導体向けめっき薬のブランド名として、社内複数の候補があった中で「トライザ」と決

めた。今後、シリーズを拡充する。半導体向けで新ブランドを確立することで、ほかの製品のブランドと差別化を図っていく。

同社の西城信吾執行役員は「当社は25年に売上高400億円の目標を掲げている。そのため施策の一つとして新ブランドを立ち上げた。取引先から見ても分かりやすくし、取り組みを強化したい」と語った。